

措置実施状況報告書

令和4年度分

会社名 株式会社天川組

代表者名 代表取締役 天川 貴

提出年月日 令和5年12月25日

担当者連絡先

課・係	総務部
職・氏名	
電話番号	0553-33-2256
メールアドレス	

◎提出〆切

※分割払い期間が5年の場合

年度	取組の期間	報告〆切
令和3年度分	令和3年7月29日～令和4年3月31日	令和4年12月31日
令和4年度分	令和4年4月1日～令和5年3月31日	令和5年12月31日
令和5年度分	令和5年4月1日～令和6年3月31日	令和6年12月31日
令和6年度分	令和6年4月1日～令和7年3月31日	令和7年12月31日
令和7年度分	令和7年4月1日～令和8年3月31日	令和8年12月31日
令和8年度分	令和8年4月1日～最終支払日※	令和8年12月31日

※ただし最終支払日が7月29日以前の場合は7月29日

1 談合事件を踏まえた、会社の経営理念

この度の談合事件に関しましては、山梨県および山梨県民の皆様方に多大なご迷惑とご心配をおかけし、深くお詫び申し上げますの次第でございます。

当社役員並びに全社員一同、再びかかる不祥事を繰り返すことのないよう深く反省致し、法令遵守体制の確立に邁進する所存であります。

ここにあらためて、当社の経営理念を確認いたします。

経営基本理念

一、遵法精神

- ・関係法令を遵守し、適法・適正な事業活動を行う。

一、地域社会との共生

- ・地域に愛され親しまれる企業を目指す。
- ・地域社会に貢献出来得るよう努力する。
- ・地域環境問題を重点課題とし、地域環境にやさしい心を持つことに努める。

一、誇れる業界の確立

- ・喜ばれ信頼される業界イメージに先駆ける。
- ・安全はすべての事項により優先される。
- ・生產品目において品質の安定を重視し経済面において効率化を計る。

一、活力ある組織の創造

- ・職場従事者の環境改善の再構築。
- ・和をもって美しくヒューマンリレーションの推進。
- ・職場における魅力作りと責務の高揚。

経営方針

- 1、「コンプライアンス(法令遵守)重視」で倫理観の高い社風を醸成する。
- 2、「安全第一」の職場を構築する。
- 3、「顧客起点」で満足度の高い品質造を推進する。

当社は、昭和4年の創業以来地域との共生を目指して、地域のために活動をして参りました。地域経済の雇用を支えるとともに、防災・防犯や地域行事等の様々な活動の担い手として、また地域の発展、安心・安全な暮らしを最優先に社会貢献活動を積極的に行ってまいりました。

これからもその気概を忘れずに受継ぎ、この経営理念のもと、地域貢献活動や災害支援等に積極的に貢献し、さらには山梨県の建設業界、山梨県および峡東地域の経済の発展に微力ではありますが貢献できるよう、できる限りの努力を重ねて歩んでいきたいと思っております。

2 私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律に二度と違反することがないように自発的に講じた再発防止策の報告

(1) 取組期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

(2) 取組の趣旨

建設業においては、企業倫理や社会的責任の欠如した行動を行った結果、建設業法や独占禁止法等の規制に違反し、厳しい行政処分を受けたり、社会的信用を失ったりすることで、事業活動が困難となるような事態が見られます。

企業のCSR(企業の社会的責任)を問われる声や、SDGs(持続可能な開発目標)の重要性が指摘される昨今において、法令を遵守するとともに企業倫理や社会的責任を重視した、コンプライアンスに則った事業活動を行うことが一層求められています。

コンプライアンスを確立するためには、経営者こそが企業倫理や社会的責任に則した企業理念を掲げ、それに基づいた行動基準を定める必要があります。そして、企業理念やコンプライアンス規定等の社内規定を整備するだけでなく、社内への浸透を図るために、継続的な周知を行うほか、定期的な社外研修の実施等への取り組みを進めていくことが求められると理解しております。

(3) 活動の概要

- 独占禁止法等法令遵守について従業員への周知徹底。
- 自社の役員、営業担当に対する法令遵守の当社独自勉強会の実施。
- 塩山建設業協会における全会員の定期的な独占禁止法研修会の実施。

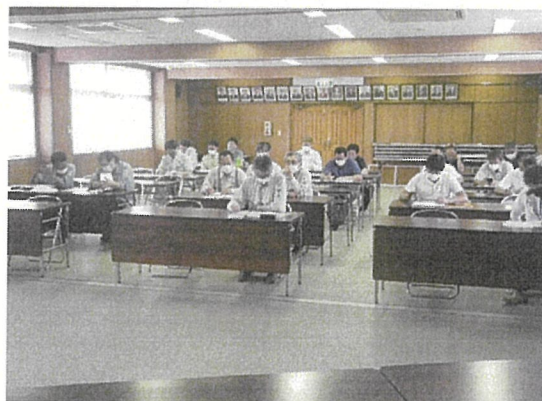
(4) 主な活動の詳細

① 社員、従業員への周知徹底

実施日 : 令和4年10月3日
場所 : 自社会議室
内容 : 独占禁止法違反、再発防止について
参加者 : 従業員12名
効果 : 独占禁止法違反は法律違反であり、その社会的責任の大きさや社会的信用の欠落、経済的損失の説明が行えた。
感想課題 : 社会的責任の重要性、企業リスクについて理解が得られた。

② 法令勉強会

実施日 : 令和4年7月12日
場所 : 塩山建設業協会会議室
内容 : 法令遵守に関する研修会及び関係法令に関する情報の取得。
参加者 : 社員1名
効果 : これから、民法、建設業法、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律等、建設業に関係のある法令の改正が控えているため、改正後に慌てないように内容を確認することができた。
感想課題 : 社会的責任の重要性、企業リスクについて理解が得られた。また関係法令についての情報収集は、今後の参考とする情報を得ることができ有意義な研修会となった。



③ 法令勉強会

実施日 : 令和4年11月11日
場所 : 塩山建設業協会会議室
内容 : 法令遵守に関する研修会(入札談合を中心に)
参加者 : 社員1名
効果 : 近年の入札談合の実態を知ることができた。
感想課題 : 社会的責任の重要性、企業リスクについて理解が得られた。今後の参考とすることができ有意義な研修会ができた。



④ 法令勉強会

実施日 : 令和4年11月15日
場所 : 当社(YouTubeLIVE 配信にて)
内容 : 建設業の法令遵守等について/建設業法令遵守について/建設業のコンプライアンス
参加者 : 社員1名
効果 : 研修し参加して、独占禁止法などの法令違反をしないよう徹底していく。

(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
①の人件費	30,000	12名×2,500円
②の人件費	20,000	1名×20,000円
③の人件費	20,000	1名×20,000円
④の人件費	20,000	1名×20,000円
合計	90,000	

3 峡東地域において自発的に講じた防災・減災への対策に資する 取り組みの報告

(1) 取組期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

(2) 取組の趣旨

自社の事業特性や経営環境に応じた社会的責任を果たすために、峡東地域における防災・減災対策に関する活動を通じ、地域に貢献する。

(3) 活動の概要

- 災害時の緊急対応はもとより、平時においても地域社会の安全・安心に向けた活動に取り組む。
- 地域のボランティア活動などへの積極的な参加により、地域の皆様とのコミュニケーションを日ごろから確保して、防災・減災活動を円滑なものとする。
- 災害時に事業特性を十分に発揮し、迅速かつ安定的な資機材の供給ができるようメンテナンスをする。

(4) 主な活動の詳細

①施設の補修

実施日 : 令和4年10月21日
場所 : 井尻小学校
内容 : 階段の修繕ボランティア
参加者 : 塩山建設業協会、社員1名
効果 : 施設の補修
感想課題 : 地域のボランティア活動などへの積極的な参加により、地域の皆様とのコミュニケーションを確保した。



②防災訓練へ参加

実施日 : 令和4年10月6日
場所 : 甲州市勝沼綿塚地内
内容 : 東山梨地区広域防災訓練
参加者 : 塩山建設業協会、社員1名
効果 : 災害時に効果
感想課題 : 実施訓練を行い、災害時に速やかに対応できるよう訓練を重ねて行うべきと感じた。



③低学年少年野球大会の開催

- 実施日 : 令和4年12月4日
場所 : 勝沼中央公園
内容 : 低学年少年野球大会の開催
参加者 : 塩山建設業協会青年部会
趣旨 : 塩山建設業協会青年部会は、青少年の健全な育成に寄与すると共に、建設業の理解を深めていただくために、CCIカップ低学年少年野球大会を開催しています。
- 試合へ出場する機会の少ない小学4年生以下の子供達に、試合へ出場する機会を提供することでより一層、野球の楽しさを実感してもらい、子供達が野球を通じて強い心と身体を鍛える切っ掛けとしたいと思っています。また、他校との交流を深める場としてもらい、更に、地域社会に貢献する建設業協会に対して理解をいただき、また建設業協会としても地域社会に貢献することを趣旨とします。
- 効果 : 青少年の健全な育成に貢献し、建設業の理解を深めていただいた。
- 感想課題 : 地域活性化のためにもこの大会継続を望む声が多く、今大会もコロナ禍ということもあり、直前まで主催者側として開催を躊躇しましたが、チーム関係者、保護者、選手の皆様に感謝の言葉を多くもらい、第26回大会を開催できたことをうれしく思います。

低学年の児童が
野球で熱戦展開
塩山建設業協会が大会
塩山建設業協会は4日、甲
州・勝沼中央公園グラウンド
と勝沼中で、「CCIカップ
低学年少年野球大会」を開い
た。今年真
今年で26回目。試合出場機
会の少ない小学4年以下の子
どもたちに野球の楽しさを体
感してもらうことも目的で、
練東地域を中心に8チームが
参加。3グループに分かれて
リーグ戦を展開し、勝利数や
得失点を競って順位を決めた。
《松本飛馬》
上位の成績は次の通り。
①春日居・山梨加納若原ラ
ウンタース②甲州JBC・勝
沼・日川A



④小学校出前授業

実施日 : 令和4年11月2日
場所 : 日川小学校
内容 : 重機などの体験学習
参加者 : 塩山建設業協会青年部会、社員1名。
効果 : 子供たちに建設業の魅力を伝える。
感想課題 : 子供たちに建設業の魅力を伝えていくことで、将来の担い手確保につなげたい。



⑤小学校出前授業

実施日 : 令和4年11月14日
場所 : 長坂小学校
内容 : 重機などの体験学習
参加者 : 塩山建設業協会青年部会、社員1名。
効果 : 子供たちに建設業の魅力を伝える。
感想課題 : 子供たちに建設業の魅力を伝えていくことで、将来の担い手確保につなげたい。



⑥中学校出前授業

実施日 : 令和4年11月11日
場所 : 勝沼中学校
内容 : 職業講和
参加者 : 塩山建設業協会、社員1名。
効果 : 子供たちに建設業の魅力を伝える。
感想課題 : 子供たちに建設業の魅力を伝えていくことで、将来の担い手確保につなげたい。



⑦⑧⑨⑭⑮⑯⑰災害・復興支援設備の維持

実施日 : 令和4年4月1日～令和5年3月31日
場所 : 自社/生コンクリートプラント
内容 : 生コンクリートプラント維持管理
参加者 :
効果 : 災害時、復興時に建設主要資材である生コンクリートを供給できる。
感想課題 : 大規模災害時に、地域復興を支える柱として、大量の生コンクリートを出荷できる体制作り。



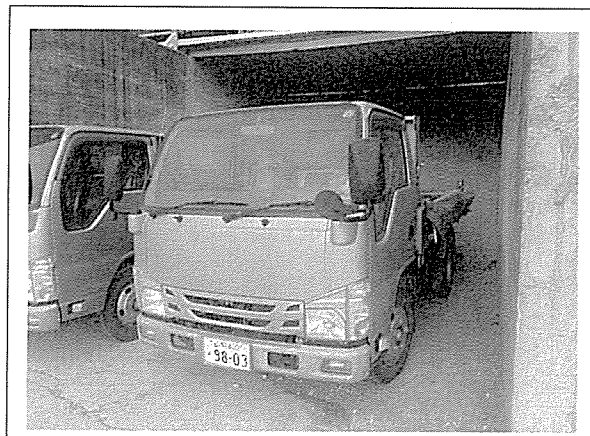
⑩⑪災害車両維持

実施日 : 令和4年4月1日～令和5年3月31日
場所 : 自社
内容 : 災害車両の維持（4tアジテータトラック）
参加者 :
効果 : 災害用
感想課題 : 大規模災害時に地域復興の主要資材生コンクリートを出荷できる体制作り。
大規模火災災害時に消防用水の供給支援。



⑫⑬災害車両維持

実施日 : 令和4年4月1日～令和5年3月31日
場所 : 自社
内容 : 災害車両の維持（2tダンプトラック）
参加者 :
効果 : 災害用
感想課題 : 大雨による洪水で運ばれてきた土砂や木、地震によって倒壊した建物などの運搬処理等。



⑱⑲災害車両維持

実施日 : 令和4年4月1日～令和5年3月31日
場所 : 自社
内容 : 災害車両の維持（10tアジテータトラック）
参加者 :
効果 : 災害用
感想課題 : 大規模災害時に地域復興の主要資材生コンクリートを出荷できる体制作り。
大規模火災災害時に消防用水の供給支援。



(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
①の経費	20,000	1名×20,000円/生コン 0.5 m ³
②の経費	20,000	1名×20,000円
③の経費	20,000	1名×20,000円
④の経費	20,000	1名×20,000円/4tミキサ ー/砂 1 m ³
⑤の経費	20,000	1名×20,000円/10tミキサ ー/砂 1 m ³
⑥の経費	20,000	1名×20,000円/杭ナビL N150
⑦災害・復興支援設備の 維持	6,215,000	■■■■/修繕費
災害車両の維持	5,707,231	■■■■/車両修 繕費・維持管理
災害車両の維持	3,112,780	■■■■/タイヤ入替等
災害重機の維持	127,050	■■■■/定期点検・ 修繕費
災害重機の維持	124,630	■■■■/自社所有重機修理
災害重機の維持	2,368,938	■■■■/修繕費・定 期点検等
⑧災害・復興支援設備の 維持	215,600	■■■■
⑨災害・復興支援設備の 維持	2,653,530	MK 機械サービス
⑫災害車両の維持	508,032	いすゞ2t 月額(42,336)
⑬災害車両の維持	443,232	いすゞ2t 月額(36,936)
⑩災害車両の維持	940,896	いすゞ4t 月額(78,408)
⑪災害車両の維持	940,896	いすゞ4t 月額(78,408)
⑯災害車両の維持	1,597,860	いすゞ10t 月額(133,155)
⑰災害車両の維持	1,597,860	いすゞ10t 月額(133,155)
⑭災害・復興支援設備の 維持	1,528,560	■■■■/出荷、品質、販売管 理システム 月額(127,380)

⑮災害・復興支援設備の維持	161,656	██████████
⑯災害・復興支援設備の維持	691,995	██████████
⑰災害・復興支援設備の維持	2,000,000	████████████████████ 監査費用
合計	31,055,746	

4 雇用の維持、確保、事業の高度化、効率化への積極投資の 取り組みの報告

(1) 取組期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

(2) 取組の趣旨

建設産業においては、労働者の高齢化や若年労働者の不足が進んでいる。このままでは、将来にわたる社会資本の整備や維持管理、品質確保、防災・減災対策などに支障が生じることが懸念されるため、産学官が共通認識のもと、一体となって、特に若年の人材の確保や育成、その定着に向け、より効果的な対策を講じていくことが必要となっている。

(3) 活動の概要

- 雇用の確保のために(給与改善、福利厚生向上)を行い、雇用の維持を図る。
- ボランティア団体の活動に積極的に参加する。
- ICT技術等の導入、活用により事業の高度化、効率化を図り、従業員の業務量の低減および安全を確保する。

(4) 主な活動の詳細

①i-construction 対応製品の購入

実施日 : 令和4年4月1日～令和5年3月31日
 場所 : 現場各所
 内容 : topcon/LN-150 杭ナビを使用し生産性の向上を図る。
 参加者 : 従業員
 効果 : 測量時の補助員が必要なく、定点測量の可能となり効率化ができた
 感想課題 : 建設システム快速ナビと連携で、従来は複数名で行っていた現場での位置出しや丁張設置等をワンマンで行えるようになった。



②i-construction 対応製品の購入

実施日 : 令和4年4月1日～令和5年3月31日
 場所 : 現場各所
 内容 : 建設システム/SiTECH3Dを使用し生産性の向上を図る。
 参加者 : 従業員
 効果 : 3次元設計データ要素解析抽出機能を搭載し、効率的に2次元図面を変換することにより、リアルタイムな施工管理を実現する3次元データを作成する3D施工データを作成できるようになった。
 感想課題 : 3D施工データを作成することによりリアルタイムに設計との比較、設計への誘導が可能となった。



③i-construction 対応製品の購入

実施日	: 令和4年4月1日～令和5年3月31日
場所	: 現場各所
内容	: 建設システム/SiteBox 電子小黒板を使用し生産性の向上を図る。
参加者	: 従業員
効果	: 「sitebox」搭載のスマートフォンで出来形データの記録と工事写真の撮影ができる。
感想課題	: 黒板を持ち運ぶ必要がなくなるため危険な場所でも安全に撮影できるほか、黒板を持つ必要がなく手書きも不要なため撮影人数を削減できた。記録した出来形データ、撮影した工事写真を「Ks データバンク」に保管することで、紛失等のトラブルからもデータを守れるようになった。

④i-construction 対応製品の購入

実施日	: 令和4年4月1日～令和5年3月31日
場所	: 現場各所
内容	: 建設システム/Site-Scope -NEXUS -STRUCTURE を使用し生産性の向上を図る。
参加者	: 従業員
効果	: ICT を活用した新技術が建設業の IT 化を推進し、建設現場における生産性を向上させる。
感想課題	:

現況横断線を抽出
 点群測量後の3次元点群データ（現況）と中心線形データから現況の横断線を抽出。横断SIMA出力もできるため、3次元設計データの作成時に活用できます。

3次元の土量集計

出来形標準表示
 3Dモデルの標準表示として「出来形標準表示」で表示し、出来形標準表示と、現況の標準表示を切り替えることができます。
 ※ 「出来形標準表示」は、3Dモデルの標準表示として表示されます。

シーン追加・スタイドショー
 3Dモデルの標準表示から、シーン追加・スタイドショーを作成することで、任意のシーンや標準表示上の標準表示から、シーン追加・スタイドショーを作成することも可能です。

HTMLファイルをビュー印刷

モデルビューを標準に移動（回転）印刷

2D印刷対応
 3Dの標準表示から「印刷」メニューの「標準表示の標準表示」を選択し、3Dビューに標準表示を切り替えることができます。3Dの標準表示をイメージとして保存することも可能になります。

拡大縮小
 標準表示、または3Dモデルの標準表示から、標準表示を切り替えることができます。標準表示から標準表示の標準表示を切り替えることも可能です。

⑤積算ソフトの更新

- 実施日 : 令和4年4月1日～令和5年3月31日
- 場所 : 現場各所
- 内容 : 「ATLUS NEXT」積算業務効率化を実現
- 参加者 : 従業員
- 効果 : 近年、目まぐるしく変貌する公共工事入札の環境に対応すべく、「積算業務の生産性向上」「次世代への積算ノウハウの継承」を実現します。
- 感想課題 : 様々な高精度の自動処理機能で積算の手間と作業時間を短縮し、最新・最適な単価・歩掛データにより、積算精度を向上。



積算業務はNEXTレベルへ

A- ATLUS NEXT

土木積算システム ATLUS NEXT

ATLUS NEXTは、土木積算業務の効率化を実現するための最新の積算システムです。

ATLUS NEXTは、最新の積算システムであり、最新の積算システムです。

(5) 経費の報告

分類	金額(円)	備考
①の経費	360,000	杭ナビ 月額 30,000
②の経費	360,000	SiTECH3D 月額 30,000
③の経費	27,000	SiteBox 使用料
④の経費	3,077,690	██████████/Site-Scope - NEXUS -STRUCTURE 等
⑤の経費	2,068,000	██████████/ATLAS
賃金	4,600,000	待遇改善のための賃金アップ
厚生費	145,660	損保ジャパン
厚生費	1,549,920	損保ジャパン 工事保険 (年 払い)
厚生費	1,571,490	損保ジャパン 自動車保険
厚生費	165,067	██████████
合計	13,924,827	

5 報告した経費の累計

年度	2の経費	3の経費	4の経費	経費合計(円)
令和3年度	120,000	24,174,729	11,000,079	35,294,808
令和4年度	90,000	31,055,746	13,924,827	45,070,573
令和5年度				
令和6年度				
令和7年度				
令和8年度				
合計				80,365,381

○公正入札違約金額等

(円)

公正入札違約金額(1)	94,342,730
調停条項で定めた令和3年内支払い額(2)	12,759,819
調停条項で定めた分割支払い分総額(3)	18,875,682
(1)と(2)及び(3)の差額	62,707,229